

若き日の細川藤孝と三淵藤英(略年表)

和暦	西暦	藤孝齢	事項	出典
天文3	1538	1	4月22日、藤孝出生。幼名万吉、熊千代、通称与一郎。	細川家記
天文10	1541	8	正月12日、藤孝、養父細川晴広と共に將軍足利義晴に謁見。	鹿苑日録
天文13	1544	—	10月9日、弥四郎(藤英)、御部屋衆として幕府に出仕	言継卿記
天文14	1555	—	3月28日、藤英、一色藤長らと共に、清原業賢邸の蹴鞠に参加	言継卿記
天文15	1546	—	1月3日、弥四郎(藤英)、奉公衆として幕府に出仕	言継卿記
天文15	1546	13	12月19日、足利義藤(義輝)の諱をうけ、藤孝と名乗る。	細川家記
天文19	1559	17	11月21日、將軍義藤、三好長慶に敗れ、近江堅田へ移る。	
天文21	1552	19	1月28日、將軍義藤、三好長慶と和し帰洛。	
〃	〃	〃	4月12日、藤孝、従五位下兵部太夫に叙せられる。	歴名土代
天文22	1553	20	藤孝、義藤(天文23年に義輝と改名)と共に朽木に逃れる。	
永禄元	1558	25	12月3日、將軍義輝、長慶と和睦して京都に帰還。	
永禄2	1559	26	正月4日、奉公衆藤孝・弾左衛門尉(藤英)らが言継邸へ正月の礼	言継卿記
永禄4	1561	28	三好義長(義興)邸への義輝御成に、藤孝・藤英ら参会。	群書類従
永禄5	1562	—	9月2日、弾正左衛門(藤英)、大徳寺に禁制を發布。	大徳寺文書
〃	〃	29	9月2日、藤孝・一色藤長、西京七保内の料所を宛て行われる。	一色家古文書
永禄6	1563	30	正月1日、言継が義輝邸に挨拶に。藤孝、御供衆。	言継卿記
〃	〃	〃	正月21日、藤孝・一色藤長・紹巴・宗養ら、聖護院殿和歌会。	言継卿記
〃	〃	〃	2月25日、藤孝・紹巴・宗養ら、細川氏綱淀城千句へ出座。	言継卿記
〃	〃	〃	藤英は「御部屋衆」、藤孝は「御供衆」として記される。	諸役人附
永禄7	1564	31	2月9日、藤孝、相良義陽方へ「義」字付与に付き、義輝の副状。	相良家文書
永禄8	1565	32	3月5日、藤孝、義陽方へ「義」字拝領の礼に付き、義輝の副状。	相良家文書
〃	〃	〃	4月5日、將軍義輝、藤孝邸へ御成り。	言継卿記
〃	〃	〃	5月19日、將軍義輝、三好・松永勢に攻められ、自害。	言継卿記
〃	〃	〃	10月11日、藤孝ら奉公衆3名連署で、東寺に禁制を發布。	東寺百合文書 大徳寺文書
〃	〃	〃	10月28日、藤孝、島津氏へ宛て、一乗院覚慶御内書の副状を出す。	島津家文書
〃	〃	〃	11月21日、覚慶、和田館より矢島へ移る。	
〃	〃	〃	12月5日、藤孝、信長から上洛への「無二の覚悟」を伝られる。	高橋義彦氏所蔵

永禄9	1566	—	正月8日条 藤英、義秋の側近として登場。	言継卿記
〃	〃	—	8月24日条 藤英、義秋の上洛について十河氏に仲介。	多聞院日記
〃	〃	—	11月、義秋、越前一乗谷へ移る。	
永禄10	1567	—	10月23日条 藤英、義秋の上洛を画策。	多聞院日記
永禄11	1568	35	4月18日、藤孝、信長参洛に付、義昭から書状(和田惟政と連名)。	和田家文書
〃	〃	〃	8月11日、義昭の使者として、藤孝・藤英ら近江佐和山に赴く。	本圀寺文書二
〃	〃	〃	9月23日、藤孝、和田惟政と共に義昭方の大将として上洛	多聞院日記
〃	〃	〃	10月6日条 藤孝・藤英ら、義昭参内の諸道具につき言継に指示	言継卿記
〃	〃	〃	10月10日条、藤孝、和田惟政と共に大和へ出陣。	多聞院日記
〃	〃	〃	10月15日、藤孝・一色藤長、本圀寺の義昭のもとで申次。	言継卿記
〃	〃	—	10月18日、藤英、醍醐山上に城を築くことについて起請文。	醍醐寺文書
〃	〃	35	10月22日、藤孝、島津氏に宛て、義昭入洛謝意に付き副状。	島津家文書
〃	〃	—	11月12日、藤英、加茂社領安堵の奉行人奉書に副状	鳥居大路良平氏文書
〃	〃	—	11月19日、藤英、山城金蔵寺宛奉行人奉書に副状。	金蔵寺文書
永禄12	1569	36	正月9日条、藤孝ら、昨夜勝龍寺に入る。	言継卿記
〃	〃	〃	3月6日条、藤孝、信長の宿所で言継らと閑談する。	言継卿記
〃	〃	〃	4月15日、藤孝、義昭のもとへ参上した言継に申次として対面。	言継卿記
〃	〃	〃	8月7日、藤孝、勝龍寺において百韻連歌。連衆紹巴・宗及等。	諸本
〃	〃	—	10月17日、藤英、小槻朝芳に壬生官庫敷地を安堵する。	壬生文書二
〃	〃	36	6月16日、藤孝、義昭新第造営に付き、島津氏へ取り次ぐ。	島津家文書之一
元亀元	1570	—	3月22日、藤英、大住庄百姓等に対し、年貢を催促する。	曇華院文書
〃	〃	37	6月18日、藤孝、藤英、一色藤長、将軍出陣の延引を触れる。	武徳編年集成
元亀2	1571	—	1月25日、藤英、洛中火災の犯人を逮捕する。	兼見卿記
〃	〃	38	2月5日～7日、藤孝、大原野千句を催す。	大原野神社蔵
〃	〃	〃	5月1日、藤孝・藤英ら、山城普賢寺城を攻める。	元亀二年記
〃	〃	—	7月1日、藤英、「御部屋衆」として記される。	言継卿記
〃	〃	—	7月26日、藤英、摂津南郷社に禁制を掲げる	今西文書坤
〃	〃	—	8月28日、藤英、摂津高槻城へ入城する。	言継卿記
〃	〃	—	9月28日、藤英、秋豪と共に東寺観智院に稻荷社参銭を寄進。	東寺文書(神泉苑文書)
〃	〃	38	10月14日、藤孝、信長より勝龍寺城普請を認められる。	細川家文書

元亀3	1572	—	1月18日、義昭、藤英の邸宅に御成。	兼見卿記
〃	〃	—	3月2日、兼見、醍醐寺安養坊愁訴につき、藤英を訪れる。	兼見卿記
〃	〃	39	3月27日、藤孝、藤英と共に信長屋敷の築地普請を奉行する。	兼見卿記
〃	〃	—	4月16日、藤英、信長軍の一員として河内に出陣する。	兼見卿記
〃	〃	—	4月20日、伏見宮被官衆、藤英陣役免除の口入を兼見に謝す。	兼見卿記
〃	〃	39	12月6日、藤孝、三条西実澄に古今伝授の誓状を出す。	八条宮文書
元亀4	1573	40	2月23日、藤孝、義昭逆心等に付き、信長の書状を受取る。	細川家文書
〃	〃	〃	2月26日、藤孝、「無二之御覚悟」に対する信長の朱印状を受取る。	細川家文書
〃	〃	〃	2月29日、藤孝、油断なきようとの信長書状を受取る。	細川家文書
〃	〃	〃	3月7日、藤孝、京都の情勢について、信長の黒印状を受け取る。	細川家文書
〃	〃	—	3月11日、兼見が伏見の藤英を見舞い、その後勝龍寺の藤孝へ。	兼見卿記
〃	〃	40	3月29日、藤孝、入洛の信長を粟田口で迎える。	兼見卿記 信長公記
〃	〃	〃	6月5日、藤孝、勝龍寺城天主において、紹巴と両吟連歌。	玄旨公御連歌 橋本家文書
〃	〃	—	7月3日、義昭、藤英等に二条城を守護させる。	お湯殿の上の日記
〃	〃	40	7月10日、藤孝、信長より西岡の一職支配を与えられる。	細川家文書
〃	〃	—	7月12日、藤英、二条城を退き、伏見に移る。	兼見卿記
〃	〃	40	7月18日、藤孝、槇島の戦いで義昭方を攻める。	信長公記
天正元	〃	〃	8月2日、藤孝・藤英ら、信長の命で淀城を攻める。	年代記抄節
天正2	1574	41	2月～3月、藤孝、多聞山城で実枝より古今講釈を受ける。	天理大学蔵
〃	〃	—	5月、藤英在城の伏見城が壊される。	年代記抄節
〃	〃	41	6月17日、藤孝、勝龍寺城天主において、古今集切紙伝授。	八条宮文書
〃	〃	—	7月6日、藤英、子秋濠と共に、坂本城にて自害。	年代記抄節
天正3	1575	42	5月、藤孝、長篠合戦で、信長方に鉄砲を差配。	細川家文書
〃	〃	〃	8月、藤孝、信長の加賀一向一揆攻めに出陣。	信長公記 兼見卿記
〃	〃	〃	10月14日、藤孝、信長より物集女氏生害について了承される。	米田家文書
天正4	1576	43	10月12日、藤孝、三条西実枝より古今伝授証明状を得る。	八条宮文書

- 【参考】・土田将雄『続細川幽斎の研究』1994 ・谷口克広『織田信長家臣人名辞典』1995
・金子拓「室町幕府最末期の奉公衆三淵藤英」『東京大学史料編纂所研究紀要』第12号 2002
・『大日本史料』第十編之二十三(天正2年7月6日、三淵藤英・秋濠卒伝)